

たののの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒 781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆
(題 字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail: info@usui-



大山 (鳥取県) 撮影者: 岡崎 裕行 様

新年おめでとぅーいします

理事長 白井 隆

2024年辰年

今年辰年です。辰年と言え私の母親は大正五年十月三日生まれの辰年であったのを思い出します。天にも昇る龍のごとく、コロナを振り切り戦争のない世界へわれわれ人類を連れて行ってもらいたいと、願っています。

昨年末に友人と三人で食事に行きました。生きている間にいつまた会えるか分からないからとの友人の誘いで、三人で楽しくお互いの病気の話ばかりをしました。みんなもう割り切っているからか、暗い感じは全くありませんでした。カラオケも交代交代に歌って、また来年も集まることが出来れば良いなと言ってお開きとなりました。昨年まで広報誌の紙面を飾ってくれたセミプロの写真家であり医師でもある岡崎先生(岡山在住)が、遠方へ出かけて写真撮影をすることが困難になり、新しい写真を送ってもらえなくなりました。早く体調が良くなって素晴らしい写真をまた送ってきて欲しいです。

コロナ禍で仕事も何もかも制約された中で体調を崩した友人がたくさんいます。年齢的な事も当然ありますが昔と違い、人生百年時代と言われるように確かに多くの人が、百歳まで生きたい、生きることが出来るのではないかと思うようになった今の世の中では、七十代での人生の最後は早い、八十代でも早いと感じるかもしれません。

いつもの事ですが、つくづく時間の早さには驚かされます。もう時間には完敗という思いです。年初に一年の計画を立てても、何も出来上がらないまますぐ年末を迎えます。このように一年はあっという間に過ぎ去り、この繰り返しです。百年であろうと二百年であろうと、止まることのない流れでいきます。この速い流れの中で何かを成し遂げるのは大変なことだと思えます。やはり、そのためには皆で協力し、受け継ぎ、次へと伝えて行くことが重要になります。

新年、頑張りましょう。



新年のご挨拶



謹んで新春のお慶びを申し上げます



院長 臼井 大介

昨年は一昨年に引き続きコロナウイルスに翻弄された一年でした。一時期、かなりの期間コロナウイルス感染症で入院される方もなく、このまま落ち着いてくれることを願ったのですが、そうならないところがこの感染症の怖さです。世の中の注目はまだまだ脅威です。今後もしっかりと医療機関においてはまだまだ脅威です。今後もしっかりと対応を続けていく必要がありますので、感染対策のため皆様にご不便をおかけすることもありますが、何卒ご協力を宜しくお願い申し上げます。また、職員一人一人の努力と奮闘に感謝いたします。

新年早々、能登半島で大規模な地震が発生し、被災地の方は大変なご苦労をされていると思います。当院としてもできることをと、田野病院DMAT(災害派遣医療チーム)の派遣を行うことになりました。少しでも被災地の力になればと存じます。また、高知県東部も能登半島と同様に交通網が脆弱な地域です。南海トラフ地震が発生した際には、現在の能登と同じような状況が発生することが予想されます。地震が起きないことが一番ではありますが、改めて有事への備えを整えて行きます。

今後、設備、接遇、診療技術の向上を図り、地域の皆様にご喜んでもいただける病院づくりに邁進したいと思っております。最後になりましたが、本年が皆様にとって、穏やかで、明るい年となりますようお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

今年は年始早々、能登半島地震そして日本航空機と海上保安庁の航空機との衝突事故と予期せぬ災害、事故が起きてしまいました。年始の今年の抱負など思う気分も吹き飛び、被害に会われた方の日常が早く戻ることを祈念するばかりです。

昨年はコロナ感染症が5類へ移行し行動制限もインフルエンザと同じでゆるくなりました。今年は平穏という言葉から“穏”という字を希望も含めて2024年の個人的な漢字大賞にもう決定しました。そして2024年は辰年で荒ぶるようなイメージを持ちますが、私はタツノオトシゴのように海のなかのんびり揺れるイメージで今年を過ごすと思っています。

まだまだwith coronaの感じで医療関係者や患者様も大変ですが、今年もよろしくお願いいたします。



副院長 兼
小児科部長
島崎 洋成



事務長
吉松 誠爾

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

元旦に能登半島地震が発生いたしました。まずは被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。そして、一刻も早く心の平穏が訪れますようお願い申し上げます。

笑ったり怒ったりしている何でもない日常や目に映る景色が、あたり前にあることではなくて、どれだけ大切なことなのかを感じながら、精一杯役割を果たしていきたいと考えています。そして、職員が患者さんや利用者さん、ご家族に寄り添い、やりがいを感じながら働くことができるよう、共に職場環境づくりに取り組み、これからも地域医療の一端を守っていきたくと考えております。昨年同様、ご支援ご指導の程何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまにとりまして本年が良き年となりますようお願い申し上げます。



経営企画部長
総務課長
安岡 将一

スタッフ一同「凡事徹底」の精神を大切に、病院経営を支える部署を目指します。本年もよろしく願います。



看護部長
西病棟/師長
岡本 直樹

新年明けましておめでとうございます。看護部一同、患者様に感謝の気持ちを込め、健康と笑顔があふれる一年であります。よう心よりお祈り申し上げます。2024年も共に励み合います。よりよい医療を提供できるように精進して参ります。



副看護部長
岡林 純賀子

今年の看護部は天に昇る龍のように上昇気流に乗りたいと思います。2024年もどうぞよろしく願います。



回復期リハビリテーション病棟/師長
外京 由美

患者様やご家族に寄り添い、望む場所に退院できるように職種と連携して支援していきます。



外来・中材手術部/師長
西岡 美幸

「新春万福」地域全体が健康でいられますように、医療従事者として全力でお手伝いさせていただきます。



リハビリテーション部/部長
細田 隆之

リハビリは身体と心の調和を大切に、皆様笑顔になるお手伝いをしていきます。幸せに満ちた2024年でありませう。



薬剤部/部長
齊藤 忠男

あけましておめでとうございます。昨年は少人数で何とか乗り切った一年でした。今年は新しい出会いに期待しています！



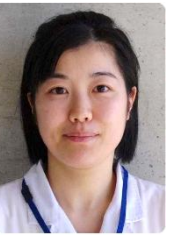
放射線部/部長
中石 宇俊

来て頂く患者様、地域の方、家族、スタッフ誰もが安心して検査を受けられる様思いやりを持って接し共生を目指します。



臨床検査部/部長
水原 世起

今月末には機械のリニューアルが全て完了します。より正確にスピーディーに”をモットーに、しっかり検査させていただきます。



栄養部/主任
小松 華子

安心安全でおいしい食事提供と栄養管理を病院全体で協力して頑張りたいです。本年もよろしく願います。



地域医療連携室/室長
今井 恵美

地域での生活を続けていくために、医療、介護、福祉、一様な支援を目指し連携強化に努めます。



医事課/課長
佐古 拓斗

スタッフ全員がプロ意識を持ち、患者様・ご家族の方に対し、サービス提供していきけるよう努力します。



居宅介護支援事業所の主任心得
枝澤 洋平

在宅生活の課題が少しでも改善できる様、また住み慣れた地域でその人らしい生活が継続出来るように支援していきます。



サービスの/サービス提供責任者
岡崎 修仁

より一層サービスの向上を図り、利用者様に安心してご利用頂けるよう、心機一転良いサービスを提供して参ります。



訪問リハビリテーションの/サービス提供責任者
池内 昭友

利用者及び御家族が、安心して在宅生活が送れるよう、職員一同で取り組んで参りますので宜しくお願いします。



ホームヘルプ/サービスの/サービス提供責任者
西岡 優子

住み慣れた自宅で過ごしたいという利用者様の気持ちに寄り添いヘルパーとして出来る事を精一杯行っていきます。



たのたの温泉/支配人
牛窓 靖

昨年も多くの方にご利用いただき新年を迎える事ができました。今年も感染対策をし、憩いの場を提供していきます。



検査機器が**新**しくなります

生化学 R6.1 月末～



臨床検査部 部長 水原世起

臨床検査部ではさまざまな機械を使用して日々患者さんの検査結果を出しておりますが、この度、なかでも主要な 4 機種(生化学、血算、免疫、尿)が約 15 年ぶりにリニューアルいたします。

秋頃から機械の入替を順次行っており、1 月末にはすべての機械の入替えが完了します。患者さんにとっても、病院にとっても“より良い機械を”という思いから約 3 年間、見学や研修に参加し検討を重ね、ようやく選定した機械となります。昨年に検査室の増改築も行えたことにより、これまでより大型で処理能力の高いハイスペックな機械を導入することができました。それにより正確さはもちろんのこと、結果報告までの時間がこれまでの約 3 倍の速さとなり、使用する血液量も少なくなることから患者さんからいただく採血量も減らすことができます。

県内でもこれらの機械を導入している施設は少なく、生化学検査(肝臓や腎臓機能を見る検査)の機械においては 2 例目、免疫検査(腫瘍マーカーや感染症)の機械においては当院が初となります。全ての結果が揃わなければ診察はできませんので、これまでお待たせすることも多々あったかと思いますが、4 機種一気にリニューアルすることにより、診察までの時間を短縮できると確信しております。

このような機械を操作させていただけることを私たち検査技師も有難く感じると共に、しっかりと操作方法やメンテナンスを習得し、患者さんの待ち時間の短縮、満足度向上のために尽力したいと思います。

血算



免疫



尿





11 月 症例勉強会
運動器疾患へのアプローチ
運動学習の観点から考える
 なぜ出来ない？
 患者様がどのように感じ、
 どのように認識しているのかから考える
 講師 理学療法士 前野 友秀

リハビリテーション部では毎月様々な勉強会を実施しています。

運動器疾患とは骨折や靭帯の損傷、関節の障害といったものの総称であり、動きにくさや痛みといった多くの問題が起きます。前野さんは外来部門において運動器疾患の患者様に対して理学療法を行っていますが、特に歩行の改善が難しい場合の対応の一つとして、運動学習を考える必要性があると言われました。運動学習を考える際に、患者様の感じる感覚は何か、何を意識してもらうか、トレーニングの難易度は適切か、といった気を付けるべき点があるとのことでした。また、運動学習には反復することが必要であり、その際に誤った学習を起こさないようにすることも大切とのことでした。

最後に、患者様が何を感じ、何を思い運動を行っているかを知ることが大切だと言われており、これからも患者様の気持ちを考えられるリハビリテーション部であり続けようと思いました。

リハビリテーション部 発達障害認定理学療法士 森下誠也



たのたの
楽楽けんこう隊

たのたの
 楽楽けんこう隊では、地域の皆様の健康増進を目的とした「健康教室」を、毎月第4金曜日の 11:00 より開催しています。

専門職ならではのバラエティー豊かな、お役に立つ講義を行っておりますので、ぜひお足運びください。



「シリーズ:ロコモ④首・肩の痛みについて」
 令和 5 年 10 月 27 日 (金) 11:00~12:00
 リハビリテーション部 作業療法士 倉澤澄子

今回、首と肩の痛みの中でも、「こり」についてお話ししました。動かないで居ると、30 分ほどで筋肉は固まってきます。これが俗に言われる「肩こり」という状態です。

生活の中では、テレビやスマホを見るなど、1 時間くらいすぐに同じ姿勢のまま過ごすこともあると思いますが、なるべく姿勢を変えて動く事を心がけて頂きたいと思います。また、首や肩がこった時に、もんでしまう方もいますが、あまり強く揉むと筋肉を痛めてしまいますので、手で筋肉の血流を押し流すようにするほうが良い事もお話しさせていただきました。加えて、簡単な体操や筋肉に良い栄養も紹介しました。もし、首や肩がこったなど思った時には、参考にして頂ければと思います。

「シリーズ:病気②心不全の予防・再発防止について」

令和 5 年 11 月 24 日 (金) 11:00~12:00

リハビリテーション部 発達障害認定理学療法士 森下誠也

「温泉利用運動プログラム」

令和 5 年 12 月 22 日 (金) 11:00~12:00

リハビリテーション部 理学療法士 宮田千華

白井理事長が
「最高優功賞」を受章しました

昨年の秋の叙勲受章に引き続き、医学、医療の発展・社会福祉の向上に貢献したことを評価していただき令和5年日本医師会「最高優功賞」を賜りました。

また、多年にわたり警察協力医として休日・夜間等を問わず法医鑑定活動を適切に行い警察に寄与したとし、高知県警察本部より感謝状を賜りました。

これらの受章に伴い、日頃の感謝を込め理事長から職員全員に紅白餅・パウンドケーキのプレゼントがありました。



病院・薬剤部齊藤部長が
「感謝状」を授与しました

トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊・医療チームの派遣隊員として、当院薬剤師齊藤部長が救援活動に従事し、国際協力の推進に寄与したとし、独立行政法人国際協力隊より感謝状を授与されました。

齊藤部長の報告から、過酷な環境の中、限られた資材での活動であったと聞きました。誰でも出来る事ではなく、全職員齊藤部長を誇りに思っています。

今後も当院では国際協力事業を理解し、チームへの参加・承認していきたいと思えます。



令和 6 年 1 月 1 日に発生した、能登半島地震被害の長期的支援の必要性から、DMATロジスティクスチーム 3 次隊の派遣候補者として、薬剤部より豊山美琴さん、リハビリテーション部より森下誠也さんが要請を受け、石川県に赴きます。

今年は、クリスマス大抽選会をしました。

経営企画部 安岡将一

令和5年12月、クリスマス抽選会を実施しました。

今回は企画時点で忘年会開催予定(感染症流行のため残念ながら新年会へ変更となりました)であったため大抽選会という形式で実施しました。中芸地域の11のお店の豪華賞品に対してほぼ全職員にあたる約270名から応募があり、抽選の結果、幸運な80名の職員が当選しました。

プレゼントは12月25日に配布され、会場となった病院大会議室には、サンタ(下村 PT)とトナカイ(島村 MSW)がプレゼンターとして登場しました。

お店とのやり取りから配布会場まで運営していただいた総務課の皆さんお疲れ様でした。お陰で当選者の笑顔を見る事ができた素敵なクリスマスとなりました。



ご協力頂きました下記の店舗の皆さま
心より感謝申し上げます。

- ・カルテット 様 Xmas ケーキ
- ・公文鮮魚店 様 お刺身盛り合わせ
- ・帆南 様 フェイシャルチケット
- ・濱川酒店 様 日本酒セット
- ・富士 様 オードブル
- ・千福 様 Xmas ケーキ
- ・砲場 様 オードブル
- ・パナシェ 様 Xmas ケーキ
- ・いなかじかん 様 アロマケアチケット
- ・安田家 様 ケーキ詰合せ

お寺マルシェ『たのしい土曜日』に行ってきました

経営企画部総務課 有澤正恵

リレーエッセイ

前月号で紹介されていた、奇数月の第 1 土曜日に開催されているお寺マルシェ『たのしい土曜日』に行ってきました。

各地のイベント出店や、近隣スーパー・道の駅へ焼き菓子などを卸して活動されている『カルテット』の五藤さんが、自ら出店者を募って開催されていて、現在のお寺の境内・駐車場を会場としたスタイルに至るまで試行錯誤があったそうです。長法寺さんの協力もあり現在 11 回まで開催され、東部のイベントとして定着してきています。

お邪魔した前回の開催日は(R5.11.4)、お天気にも恵まれてお昼前には沢山の人が訪れていました。

この日は、境内でカルテットさんのケーキをはじめ、輪投げ・リース作りのワークショップや、駐車場では韓国料理やクロワッサン、お芋やわらび餅などのキッチンカーが出店しており、各店舗を見て回るだけでも十分楽しめました。

気温が高かったこともあり、冷たい飲み物やデザートを買って求める人が多かったようです。また、ビールを提供しているお店もあり、唐揚げとセットで買われていく人も沢山いました。

病院の近くということもあり、お昼休みなどを利用して出かけるのを楽しみにしている職員も増えています。

お近くの方も、そうでない方も、四国一小さな町のたのしいイベントに出かけてみてください。

日時

奇数月 第 1 土曜
11 時～16 時

場所

長法寺 (田野町 1894-1)
境内・駐車場こ
子

編集後記

年始に中土佐町にいる祖母とお正月を過ごすため、家族総出で行きました。これが最後になるかもと言われ続けて 10 年近くになります。今年も一緒に過ごせた事に感謝です。

経営企画部総務課 楠目 志麻